

子どもの居場所、子どもの声：子どものこころを育む社会

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392>
なお、本講座は2ポイント(予定)となります。

期 日:2022年10月26日(水)・29日(土)のいずれかのご希望日

※ご希望日を必ず通信欄にご記入・ご入力ください

受講対象:医療、看護、保育、教育、治療、相談、指導、福祉などに携わる専門家および学生他

申込期限:2022年10月18日(火)(お申込みは先着順となりますが、期限前に募集を終了する場合がございます)

受講料:7,500円(税込み)

配信方法:『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

★★★ 企画講師 ★★★ 渡辺 久子 先生 LIFE DEVELOPMENT CENTER 渡邊醫院 副院長 児童精神科

子どもは安心な居場所で声をあげてわくわく行動しながら発達します。無理な我慢緊張を強いられると心は歪み、やがて思わぬ生きづらさとなりその人を苦しめます。東日本大震災後10年を経た日本に、コロナ世界流行、気候変動による災害、ロシアによるウクライナ侵攻による不安などが襲います。日常生活が脅かされる時、一番深刻に被害を被るのは子どもたちです。今子どもたちは大人の大変さを察し静かに耐えています。忙しすぎ疲れはてゆとりがない大人のそばで、小さな胸にはつらい気持ちが一杯です。もっとのびやかに声をあげて甘えたり遊んだり一家団欒を味わいたいのに…。日本ではなぜ子どもが生まれてこないのか、生まれた子どもが消えていくのか?虐待、不登校、引きこもり、心身症、子どもの自殺の多さは、日本の声なき子どもの苦悩の氷山の一角です。今こそ子どもが心をひらいて本音をだせる社会を創りださねばなりません。

最新の脳科学は人類進化の歴史において、人の脳が言葉や理論を獲得する前に完成したことを示しています。文字をもたない未開民族には豊かな文化があります。同様に言葉をもたない赤ちゃんも、生まれつき大脳皮質の欠損した「無脳症」児も、人と楽しくふれあい思いやりを示しひたむきに生きるのです。この赤ちゃんの「社会脳」は「間主観性」という体の響きあいによる心の伝達力により支えられています。幼い頃無条件にかわいがられた人は、やがて乳幼児のニーズを察する直観的育児力をもつ人になります。

本講座では、子どもひとりひとりの声なき声をくみとる以下の講師の講演を企画しました。福島県で被災後いち早く子どもの遊び場創りにとりくみ、ロヒンギャ難民キャンプ支援者と共に子どもの居場所の大切さを世界に発信する小児科医菊池信太郎。岩手県沿岸の被災親子の苦悩に寄りそいその知恵から学ぶ児童精神科医鈴木廣子。父母紛争の影で苦しむ子どもの危機に触れ、子ども中心の司法システムにとりくむ弁護士長谷川京子。世界乳幼児精神保健学会理事としてウクライナやアジアの親子支援にかかわる児童精神科医渡辺久子。ひとりひとり異なる感性、資質、生い立ちをもつ私たちがどのように知恵を絞りあいよりよい地球を次世代に手渡していけるかを皆さまとともに考えます。子どもから学ぼうとするすべての方にお勧めする講座です。【企画講師：渡辺 久子】

<プログラム>

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

	時間	テーマ	講師
各 日	10:50頃~	オンライン講座の事前案内	
	11:00~12:15	人類の壊し続ける地球をひきつぐ 子どもたちへ	LIFE DEVELOPMENT CENTER 渡邊醫院 副院長 児童精神科医 渡辺 久子
	12:15~13:15	休 憩	
	13:15~14:20	被災地の子どものケアは子どもの居場所作りから ~東日本大震災から学んだ被災地の子どもへのアプローチ~	菊池医院 院長 菊池 信太郎
	14:30~15:00	被災(震災・災害)を生きのびる親子の静かな 命のサイン ~「愛着」の観点から~	すずきひろこ心理療法研究室 室長 鈴木 廣子
	15:10~16:10	子どもの声を高める:離婚後共同親権による 子どもの傷つき	みのり法律事務所 弁護士 長谷川 京子